令和4年 第8回別海町教育委員会議 会議録

- 1 開催日時 令和4年7月22日(金)
15時00分から15時45分まで
- 2 開催場所 別海町役場4階第2委員会室
- 3 出席者 (3名)
教育長 登藤和哉
教育委員 粥川一芳
教育委員 鈴木桃子
- 4 出席職員 (17名)
教育部長 山田一志
教育部次長 宮本栄一
指導主幹 相澤要
指導主幹 稲村和典
指導参事 吉光寺勝己
学務・スポーツ課主幹 齋藤陽
学務・スポーツ課主査 大山晋作
学校教育課長 池田卓也
学校教育課主幹 堀込美穂
学校教育課主査 高津寛人
生涯学習センター長 新堀光行
生涯学習課主査 上杉大洋
給食センター主査 平下奈津子
西公民館長 木戸口誠
図書館長 堺啓
郷土資料館副館長 石渡一人
郷土資料館主幹 戸田博史
- 5 議事日程 議案第1号 別海町教育事務執行の点検評価等に関する事業実績報告書の提出について
議案第2号 別海町生涯教育研究所所員の任命及び委嘱について
議案第3号 別海町学校給食センター運営委員会委員の任命及び委嘱について

教育長
(登藤和哉君)

－【開 会】－

ただいまから、令和4年第8回の別海町教育委員会議を開会いたします。

本日の出席者は3名です。

別海町教育委員会議規則第5条の定足数に達しておりますので、会議の成立を宣言いたします。

開会にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

委員の皆様にはご多用の中、お集まりいただき誠にありがとうございます。

町内の各校は本日、すべての学校が終業式を迎え、夏季の休業に入ります。

子どもたちへの指導を、校長会を通じてお願いしたところであります。

さて、先日ですが、町内各校の教員8名と教育委員会で生きる力アッププロジェクト事業の一環で、秋田県大館市へ研修に行きました。

これまでは、秋田県横手市への研修でしたが、今回からふるさとキャリア教育の先進地である大館市に変更しました。

今までこの研修に参加した先生方は、多くのことを吸収し、大変勉強になったと聞いていました。今回参加した先生方もとても熱心に研修されており、視察場所で学んだことをしっかりと、学校で還元してもらえるものと確信しております。

次に、パイロットマラソンですが、今年度は3年ぶりに開催することが実行委員会で決定されました。

最近はコロナ感染症の第7波ともいわれ、感染者が増加の傾向ですが、何とか実施できることが可能な状況になることを祈るばかりです。

ちなみに、現在の申し込み状況については、まだ空きがある状況なので、申込期限の7月29日まで若干の期間がありますので、委員の皆様も機会を見て宣伝していただければ幸いです。

本日の会議は令和4年の第8回目の会議でございます。

どうぞよろしく願いいたします。

－【前回会議録の承認】－

教育長
(登藤和哉君)

それでは日程第2前回会議録の承認に入ります。

令和4年第7回の会議録につきまして、事前に委員の皆様にも事務局から送付しておりますので、訂正御意見等がありましたら発言を

教育長
(登藤和哉君)
教育長
(登藤和哉君)
教育長
(登藤和哉君)
教育部長
(山田一志君)

お願いしたいと思います。

何かありませんでしょうか。

(「なし」の声あり)

なければ承認することとしてよろしいですか。

(「はい」の声あり)

それでは、第7回の会議録について承認することといたします。

－【報 告】－

次に、日程第3報告に入ります。

6月15日に開催をいたしました第7回教育委員会議から本日まで
の行事や実施事業等について事務局報告をお願いいたします。

それでは、6月15日開催の第7回教育委員会議以降、本日までの
主な行事や実施事業等について、配布の資料により御報告いたしま
す。

6月16日、定例教頭会を開催しまして、教育長及び関係職員が出
席をしております。

同日、別海中央中学校で別海中央学校区コミュニティ・スクール学
校運営協議会が開催され、教育長及び関係職員が出席をしております。

17日、第3回全員協議会が開催され、教育長及び関係職員が出席
をしております。

20日から24日の日程で、第2回別海町議会定例会が開催され、
教育長及び関係職員が出席をしております。

24日、元上風連小学校長の飯塚竹夫氏の、高齢者叙勲伝達式を行
いまして、教育長及び教育部長が同席のもと、町長から叙勲を手渡
しております。

27日、別海町民体育館で、第1回別海町スポーツ推進委員会議が
開催されまして、教育長及び関係職員が出席しております。

28日、上風連小、中学校で、実のなる木植栽事業卒業記念植樹が
行われ、教育長が出席しております。

30日、中西別小学校で実のなる木植栽事業卒業記念植樹が行わ
れ、教育長が出席しております。

30日、定例校長会議を開催し教育長及び関係職員が出席して
おります。

月が変わり7月3日、別海町パークゴルフ場で、根室管内パーク
ゴルフ協会親睦交流会が開催され、教育長が挨拶のため出席して
おります。

4日、第3回別海町議会臨時会が開催され、教育長及び関係職員が

出席しております。

同日、郷里砂北京オリンピック報告会が開催され、副町長及び教育長が出席しております。

5日から7日の日程で、先ほど教育長の挨拶にありましたが、生きる力アッププロジェクト事業教育視察研修を行いまして、各学校からの代表教員8名と教育長、指導参事及び学校教育課長が、視察先の秋田県大館市を訪問しております。

8日、別海町生涯学習センターみなくるで、根室管内教育長会議及び人事推進会議が開催され、教育長が出席しております。

13日、全道大会出場に向け、別海陸上少年団の表敬訪問を受けまして、副町長及び教育長が激励をしております。

19日、野付中学校で野付学校区コミュニティ・スクール学校運営協議会説明会が開催され、教育長及び関係職員が出席しております。

20日、中体連全道大会出場に向けて別海中央中学校各部活の生徒の表敬訪問を受けまして、町長及び教育長が激励をしております。

22日、本日、第8回教育委員会議の開催となっております。

以上で報告を終わります。

－【議 事】－

教育長
(登藤和哉君)

それでは、これから日程第4議事に入ります。

はじめに、議案第1号別海町教育事務執行の点検評価等に関する事業実績報告書の提出について、を議題といたします。

事務局説明をお願いします。

学務・スポーツ課主幹
(齋藤陽君)

私の方から、議案第1号について説明いたします。

議案書1ページをご覧ください。

議案第1号別海町教育事務執行の点検評価等に関する事業実績報告書の提出について、別海町教育事務執行の点検評価等に関する規程第3条第3項により別紙のとおり点検評価委員に提出する。

本議案は、別冊でお渡ししています、令和4年度別海町教育事務執行の点検評価等に関する事業実績報告書を6月15日に開催しました第7回教育委員会議で決定した点検評価委員に提出するものです。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項で、教育委員会は毎年その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないと定められております。

また、同条第2項では、教育委員会は前項の点検評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものと

されております。

今後は、点検評価委員の棚橋昌博氏、下地哲氏に点検評価を行っていただき、その後作成する評価報告書を議会に提出するとともに、公表する予定となっております。

次に、別冊の令和4年度別海町教育事務執行の点検評価等に関する事業実績報告書をご覧ください。

この後は、各担当から概要等を説明させていただきます。

まずは私の方から、学務課総務担当分について説明させていただきます。

資料の学務課の1ページをお開き願います。

上段は別海型コミュニティ・スクール推進事業です。

令和3年度には、運営協議会を町内全8地区に設置しており、評価はAとしています。

下段は、北海道別海高等学校教育支援事業です。

令和3年度につきましては、通学費助成、寄宿施設の助成など、すべての補助、助成を実施しており、評価はAとしています。

2ページをお開きください。2ページは教師用指導書等購入事業となっており、令和3年度に購入実績はありませんが、小学校教師用指導書は令和5年度、中学校教師用指導書は令和6年度に教科書の改定に併せて購入する予定としています。

3ページをご覧ください。小中学校記念事業で、令和3年度は、上風連小学校統合50周年記念事業及び、別海中央小学校開校100周年記念事業の記念事業に係る補助の実績となっております。

学務課総務担当分は以上です。

続きまして、学務課の4ページからになります施設担当分の主な事業の実施概要について説明いたします。

学務課4ページから5ページになります、小学校、中学校教育用コンピュータ整備事業につきましては、令和3年度では本格的に活用が進んでいるGIGAスクール構想により整備した、タブレット端末に係る画面フィルムやタッチペンなどの消耗品について、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し故障対応分として整備を行っています。

また、GIGAスクール構想を進めるため、安定したネットワーク環境や1人1台端末の保守を行う業務委託を、文科省の補助を活用し実施しています。

8ページ以降の施設関係になりますが、令和3年度では、学務課24ページ以降に記載しています、幼稚園3園の園舎について新型コ

学務・スポーツ課主査
(大山晋作君)

学校教育課主幹
(堀込美穂君)

コロナウイルス感染症対策として、窓を開けて換気を行う際の寒暖差により園児が体調を崩すことがないように体調管理を図るため、エアコンが設置されていない保育室に、エアコンを設置する工事を新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し行っています。

また、15ページになりますが、2か年事業として進めていた上春別小学校の高圧受電設備の改修について終了しており、その他、各学校施設におきまして各種保守点検や小規模修繕を実施しております。

また、評価については、実施済みとしてすべての事業について丸としています。

以上で施設担当分の説明を終わります。

それでは、学校教育課学校教育・適正化等担当分について説明いたします。

学校教育課の資料1ページをお開きください。

学校教育・適正化等担当分につきましては、学校教育課1ページから3ページの5事業となります

この中から、今回は学校教育課2ページ上段の、小学校児童用図書整備事業及び下段の中学校生徒用図書整備事業について説明いたします。

本2事業は、児童及び生徒が利用する図書の充実を図るため、すべての小中学校が図書の充足率を達成できるよう、計画的に図書を購入しているものです。

評価指標は図書充足率とし、令和3年度は総冊数に対する充足率、各学校の達成率の平均値のいずれも、小学校児童用図書、中学校生徒用図書とも目標を大きく上回ったことから、A評価としています。

なお、令和3年度から令和6年度までは、特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用して取り組むこととしています。

学校教育課主査
(高津寛人君)

続きまして、教育支援担当分について説明いたします。

教育支援担当分につきましては、学校教育課3ページと4ページで、いじめ・不登校問題対策事業、奨学資金貸付事業経費、スクールバス購入事業の3事業となります。

この中から今回は、学校教育課4ページの、スクールバス購入事業について説明いたします。

町のスクールバスについては、現在、中型バス10台、マイクロバス12台の計22台で運行しており、経過年数や走行距離、車体の劣化度合などにより毎年1台から2台更新することとして計画してい

生涯学習課主査
(上杉大洋君)

ます。

令和3年度は、計画どおり中春別地区の中型バス1台について、利用者数減のためマイクロバスに変更して更新し、通学対策の安定を図っているところであり、評価を丸としています。

なお、現在の保有台数から、年間1台の更新では20年で更新していくことができないため、令和4年度については計画を前倒しし、2台更新することとして購入手続きを進めています。

以上です。

続きまして、生涯学習課生涯学習担当の事業実績について説明させていただきます。

まず、社会教育全体に係る計画は平成30年度に社会教育中期振興計画策定し、令和元年度から取組を進めておりますが、各事業の内容には大きくは変わった状況にはありませんが、いくつか追加して実施している事業がありますことを予め申し上げます。

さて、生涯学習担当事業としては、掲載のある24事業の内、令和3年度の実施は16事業となっております。

掲載事業数との差異については、令和3年度、そもそも実施予定のない5事業があることに加え、新型コロナウイルス感染症等の影響で中止としたものや、大会派遣費など実績が生じなかった取組が3事業あったことによります。

実施事業各評価の数は、A評価が6事業、B評価が5事業、C評価が5事業となっており、この他に社会教育の振興とは別な観点で実施しております別海高等学校教育支援事業については、その他として14ページに掲載しております。

本日は、新たな取組、そして他の庁内計画とも大きくリンクしている事業として、生涯学習課3ページ、学校・家庭・地域の連携協力事業について、その概要と評価について簡単に説明させていただきます。

別海型コミュニティ・スクールと関連した取組として、学校・家庭・地域をつなげるコーディネーターの配置や、放課後子供教室の実施など地域における連携・活動を活性化させる枠組みとして、令和3年度からの新規事業となっております。

新型コロナウイルス感染症の流行もあり、地域活動・会議等は縮小されており、当初予定した事業量、或いは感染対策等を踏まえた取り組みとしての実施まで至らなかった地域が多かったことから評価はCとしております。

以上で生涯学習担当の説明を終わります。

郷土資料館主幹
(戸田博史君)

続いて文化財担当分について説明いたします。

6事業のうち、A評価が1事業、B評価が5事業です。

この内、3ページの奥行地区文化財保存整備事業につきましては、コロナ禍もあり、旧奥行臼駅通所の入館者数が1,575名と目標の1,800名には届きませんでした。史跡公園整備基本構想は計画どおり策定することができました。

評価はBとしています。

4ページ、西別湿原ヤチカンバ群落地保存整備事業につきましては、国指定に向けて計画どおり調査報告書を発行することができたことから、評価はAとしています。

文化財担当分の説明は以上です。

教育部次長
(宮本栄一君)

それでは、社会体育担当分について説明いたします。

生涯学習課社会体育担当、1ページから12ページまでとなりますけれども、A評価が2事業、B評価が4事業、C評価が1事業、補助事業及び施設の整備が6事業、中止となった事業が2事業となっておりますが、事業数が多いため抜粋して2事業につきまして、説明をいたします。

最初に1ページをお開きください。

コンビニスポーツ教室の普及と充実ですが、こちらの事業につきましては、主に高齢者クラブ等から依頼があり、各種スポーツ教室を行うものとしておりますが、前年度はコロナ禍の影響もありまして、B評価でしたが、令和3年度につきましては目標値を達成することができたので、A評価としております。

次に、6ページをご覧ください。

別海町パイロットマラソンですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となったことから、評価はできませんでしたが、今年度につきましては、3年ぶりに開催が決定しており、現在申し込みの受付を行っているところです。

なお、感染対策のため、開会式や交流会を中止するなど、例年どおりの開催にはなりません。感染対策マニュアルに基づき、感染対策の徹底を図り進めていきたいと考えております。

以上です。

給食センター主査
(平下奈津子君)

続きまして、学校給食センターです。

給食センター1ページをお開きください。

給食センター運営経費賄材料費です。

令和3年度もできるだけ新メニューや、行事食メニューを提供できるように努め、日本の伝統的な食文化の継承につながるような献

立に工夫をしています。

また、町内産の食材を2種類以上使用した、べつかい給食を3回実施しています。

令和3年度も多くの食材提供があり、賄材料費で購入した町内産食材は約15.84%と、使用率は伸びていませんが、多くの町内産を使用するように、町内産のバターや牛乳、ヨーグルト、ホタテを使用したメニューを、数多く取り入れ工夫しています。

学校における食育の推進を図る観点から、学校給食を活用した食に関する指導を効果的に行えるように、学校給食の食事内容の充実に努めています。

給食センターからは以上です。

学務・スポーツ課主査
(大山晋作君)

続きまして、令和3年度生涯学習センター建設準備室分の事業の概要を説明します。

令和3年度の事業内容としまして、令和元年度から進めていました建物の本体工事が完了しています。

また、本体工事の補助事業とは別事業として総務省からの補助採択を受け、建物内の公衆無線LANの整備を行っています。

駐車場を含む外構工事については、令和3年度からの2か年事業として実施し、令和3年度では北側の駐車場の整備まで完了しております。今年度の秋ごろまでに南側駐車場の整備が完了する予定です。

生涯学習センター、交流館ふらと、青少年プラザの3館連携として空き状況の確認や、利用申し込みを一元的に行うことができる、公共予約システムの導入を行っています。

令和3年度では総務部総合政策課の予算で実施したことから決算額には含めていませんが、生涯学習センターの備品について令和4年度までの2か年で整備を進めることとしています。

評価については、すべての事業を実施済みとして丸としています。

以上で説明を終わります。

中央公民館長
(新堀光行君)

それでは令和3年度中央公民館の実績報告について御説明申し上げます。

令和3年度におきましては、計23件のアクションプログラムがございましてソフト事業に22件、ハード事業1件となっております。

ソフト事業22件につきましては、A評価が6、B評価が9、C評価が4、事業が実施できなかったなどで評価できなかったものが3という結果になりました。

令和2年度と比較いたしますと、A評価で5事業の減、B及びC評価は各3事業の増、評価なしは1事業の減と変動しているところがございます。

その理由につきましては、言うまでもなく、新型コロナウイルスの流行によるもので、臨時休館日も合計で50日間と令和2年度の36日間で14日間上回ったことが主な原因です。

3ページの下段になります、昨年度の利用者数ですが18,068人でございます。

前年度比2,412人の増となっておりますが、コロナ禍前と比較いたしまして、57%の利用人数となっております。

令和3年度では、新型コロナウイルス感染症の影響があったものの2年度には実施できませんでした、7ページ上段の町の芸術祭、8ページの公民館祭、10ページの各種芸術文化鑑賞事業など、内容の工夫や見直しによって開催できた事業につきましては、今後も継続して実施し、引き続き感染症対策を実施し、住民ニーズに即した事業展開ができるように努めてまいります。

以上で説明を終わります。

西公民館副館長
(木戸口誠君)

続きまして、令和3年度西公民館事業実績報告を説明いたします。

令和3年度は、20のソフト事業を掲載させていただいておりますが評価につきましては、A評価が4事業、B評価が6事業、C評価が3事業、中止等の理由で評価ができなかったものが7事業という結果となりました。

昨年は、一昨年同様新型コロナウイルスの影響により、実績が目標値に達することができず、評価が低くなった事業や評価ができなかった事業が多くあります。

しかし、1ページの成人講座では、屋外で可能な駅前地区徒歩ツアーの実施、マジック教室受講者を中心としたサークルの立ち上げ、また、5ページの文化祭事業では、関係団体と人が密集する芸能発表会のあり方等を協議するなど、どうしたら実施できるかを職員だけではなく、地域住民と一緒に考える機会が多々ありました。

これらの流れは今後の効果的な事業運営につながるものと考えております。

以上で西公民館の説明を終わります。

教育部次長
(宮本栄一君)

東公民館の職員が本日欠席のため、私から説明させていただきます。

東公民館1ページから13ページに、記載のソフト事業は15事業となっております。

図書館長
(堺啓君)

昨年同様、新型コロナウイルス感染症拡大防止から異世代交流事業や、室内で密を回避することが困難な家庭教育学級及び、東公民館まつりの3事業を中止といたしました。

また、密を回避できる屋外活動を中心に事業を実施した結果、ふだん体験することが難しい沢登りや登山、カヌーやサップ体験などに多くの参加があり、新たなニーズの確認をすることができました。

なお、止むを得ず中止した3事業、コロナに伴い閉館期間のあった施設の利用実績、作品展など、一部を開催した地域文化祭など除いた9事業の評価内容は、目標実績回数や参加人数など、多少の増減はありましたが、A評価となっております。

以上です。

続きまして、図書館の事業実績について説明いたします。

令和3年度は、計22件のアクションプログラムがあり、そのうちソフト事業16件につきましては、A評価が9件、B評価が1件、C評価が2件、D評価が1件、中止が2件、評価なしが1件となっております。

ハード事業につきましては、6事業全て実施済みですので、評価は丸となっております。

ソフト事業で、C評価2件、D評価1件の事業についてですが、図書館2ページの上段、学校での学習への対応につきましては、評価指標が学校からの相談件数となっており、目標20件に対し、実績8件と目標の50%以下にとどまっているため、C評価としております。

続きまして、図書館3ページ下段、移動図書館車の巡回につきましては、目標値8,000人に対して実績4,304人、40,000冊に対して26,440冊と、目標値の53.8%、66.1%とそれぞれなっており、どちらも目標に達していないため、C評価としております。

続きまして、図書館10ページです。

おはなし会の実施につきましては、評価指標が参加人数で、計画240人に対して実績34人と目標値の14.2%にとどまっているため、D評価としております。

この評価につきましては、新型コロナウイルス感染防止のため、おはなし会の参加を各回3組限定としているため、目標の達成が当初から難しいということ、臨時休館による中止期間があったことが原因となっております。

最後に、新型コロナウイルス感染防止のため中止となった事業です。

郷土資料館副館長
(石渡一人君)

1 ページ上段夏休み手芸教室、3 ページ上段古本市支援が中止となっております。

夏休み手芸教室の代替事業として、希望の学校に出向いてブックトーク事業を実施しております。

以上、実績について説明を終わります。

令和3年度郷土資料館の実績報告について説明いたします。

令和3年度は、16件のアクションプログラムがあり、内訳としまして、ソフト事業が15件、ハード事業が1件となっております。

ソフト事業15件につきましては、A評価が8件、B評価が7件となっております。

内容につきましては、施設の一般公開や教育普及事業収蔵資料の整備と調査、研究についての項目であり、おおむね当初の目標を達成しているものと判断しております。

なお、入館者数につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度対比16人減となっておりますが、コロナ禍前と比較し半分程の入館者数となっております。

教育普及事業につきましては中止としたものが1件、それ以外のものにつきましては、参加者数を少なくするなどして実施しております。

以上、簡単ですが説明を終わります。

生涯学習課主査
(上杉大洋君)

項目としては最後になりますが、生涯教育研究所の事業報告について説明いたします。

別海町生涯教育研究所では、1ページから2ページにある4事業に取り組んでおります。

事業内容としては、過年度から大きな変更はありませんが、1ページ上段に掲載しております、育てよう別海町の学びの木の改定では、未満児から高齢期までの学習の指針として、系統立てられた内容のものは町内において他にない状況にありますことから、都度現代的課題、表現になるよう改定を行っており、評価をAとしております。

幼児教育関係者、学校教育関係者、社会教育関係者が集まる本組織の取組は、個々の教育段階を包括して検討できる道内でも数少ない組織であり、今後益々重要なものになるものと考えております。

以上で生涯教育研究所の説明を終わります。

以上で、議案第1号の内容説明を終わります。

教育長
(登藤和哉君)

ただ今、議案第1号について内容説明が終わりましたので、御質問御意見等がありましたら、お受けしたいと思います。

何かありませんでしょうか。

教育長
(登藤和哉君)

(「なし」の声あり)

御質問がなければ採決をさせていただきます。
議案第1号について原案のとおり可決することに御異議ございませんか。

教育長
(登藤和哉君)

(「異議なし」の声あり)

異議がないようですので、議案第1号について原案のとおり決定することといたします。

続きまして、議案第2号別海町生涯教育研究所所員の任命及び委嘱について、を議題といたします。

事務局説明をお願いいたします。

生涯学習課長
(福原義人君)

議案書2ページをお開き下さい。

議案第2号別海町生涯教育研究所所員の任命及び委嘱について説明します。

本案につきましては、町内の学校や幼稚園、社会教育に関係する職員等をもって構成されており、本町の生涯教育の実践方法を調査研究しております、別海町生涯教育研究所において、同設置条例に基づき任命しております委員の内、今般4名の委員から本年3月31日をもって解任の申出があったことから、新たに4名の委員を任命するものであります。

今回新たに任命及び委嘱する所員は、

鈴木和子氏、認定こども園野付幼稚園長

入田由江氏、認定こども園別海保育園主査

八岡純治氏、別海町立野付中学校教頭

木戸口誠氏、教育委員会西公民館副館長の4名の方です。

任期につきましては、別海町生涯教育研究所設置条例第3条に基づいて、前任者の残任期間のため令和4年4月1日から令和5年3月31日までの1年間となります。

次に、議案資料の1ページをお開き下さい。

生涯教育研究所所員の一覧表を添付しております。

新任の所員4名を加えまして、これまでと同様の16名の構成となっていますので、後ほどご確認いただければと思います。

以上で、議案第2号の内容説明を終わります。

教育長
(登藤和哉君)

ただいま議案第2号の内容説明が終わりましたので、御質問御意見等がありましたら、お受けしたいと思います。

何かありませんでしょうか。

(「なし」の声あり)

教育長

なければ採決をさせていただきます。

(登藤和哉君)	議案第2号について原案のとおり可決することに御異議ございませんか。
	(「異議なし」の声あり)
教育長 (登藤和哉君)	異議がないようですので、議案第2号について原案のとおり決定することといたします。
	次に、議案第3号別海町学校給食センター運営委員会委員の任命及び委嘱について、を議題といたします。
	事務局説明をお願いいたします。
給食センター主査 (平下奈津子君)	議案第3号別海町学校給食センター運営委員会委員の任命及び委嘱について内容を説明いたします。
	議案書3ページをお開きください。
	運営委員会は学校給食センターの円滑な運営を図ることを目的として、別海町学校給食センター設置条例により設置されている組織で、現在10名を任命及び委嘱しており、任期については令和3年4月1日から令和5年3月31日までの2年間でございます。
	本議案は、令和4年3月31日で委員の任命及び委嘱していた方が選出団体の役員改選があったことから、補欠委員の選任をするものでございます。
	任期につきましては、前任者の残任期間として、令和4年4月1日から令和5年3月31日まででございます。
	任命及び委嘱する委員は3ページ議案の通りで、一覧につきましては議案資料2ページでございます。
	学識経験者として、上西春別幼稚園園長、中谷順枝氏
	学校長等からは、別海中央中学校校長、野口泰秀氏
	上風連中学校校長、岡部伸也氏の計3名を任命
	PTA代表からは、別海町小中学校PTA連合会副会長、菅野正幸氏の1名を委嘱するものでございます。
	以上で、議案第3号の内容説明を終わります。
教育長 (登藤和哉君)	ただいま議案第3号の内容説明が終わりましたので、御質問御意見等がありましたら、お受けしたいと思います。
	何かありませんでしょうか。
	(「なし」の声あり)
教育長 (登藤和哉君)	なければ採決をさせていただきます。
	議案第3号について、原案のとおり可決することに御異議ございませんか。
	(「異議なし」の声あり)
教育長	異議がないようですので、議案第3号について原案のとおり決定

(登藤和哉君)

教育長

(登藤和哉君)

教育部長

(山田一志君)

することといたします。

－【その他】－

それでは日程第5その他に入ります。

事務局から何かありませんでしょうか。

私のほうから最近の新型コロナウイルス感染症の状況等について、報告をさせていただきます。

新型コロナウイルスの感染状況については、現在、第7波が押し寄せ、全国的にも全道的にも感染者が増加の一途をたどる状況にあります。

新聞等の報道では、従来株のBA2より感染力の強い新たな株BA5が流行しているとの見解が示されていまして、北海道内においても昨日あたりから、日の感染者数が4,000人に迫る状況にあります。

本町では、6月9日から27日までは、陽性者ゼロの日が続いたものの、7月に入り1日の感染者数が0～3名の日が続きました。

15日は11名、16日は6名、17日は16名、18日は10名、19日には25名で過去最高、20日は14名、21日は24名と爆発的な感染拡大となっています。

感染者の増加については、家庭内に持ち込まれたウイルスが家庭内で広がりを見せている事案が主となっていますが、小学校においては、バレー、バスケットなどの少年団活動による感染の広がりも否定できない状況にありました。

学校区における今回の感染拡大では、中央小学校児童の陽性確認者が多数を占め、7月15日からの感染者が、7月21日時点で、1年生2名、2年生4名、3年生4名、4年生6名、5年生17名、6年生15名の計48名が陽性者となり自宅療養中です。

このことから、中央小学校では、7月19日から20日までの2日間を学校閉鎖とし、感染者の多い5、6年生は引き続き21日から、今日の22日までを学年閉鎖としました。

そういったわけで5、6年生につきましては、本日が終業式となっておりますので、そのまま夏休みに入るという状況になっています。

また、現在の教育委員会に関する対応については、お配りした資料の1から5まで記載のとおりとなっております。

これまでの対応と大きく変更のあるものはございませんので、その内容については確認をいただければと思います。

教育委員の皆さんに状況情報を共有ということで報告をさせていただきます。

教育長
(登藤和哉君)

以上で報告を終わります。
今の説明に対しまして、委員の皆様方から何か聞きたい点ありますでしょうか。

教育長
(登藤和哉君)

(「なし」の声あり)
その他、事務局から連絡事項ありますか。

教育長
(登藤和哉君)

(「なし」の声あり)
それではその他、委員の皆様方から何かありますか。

教育長
(登藤和哉君)

(「なし」の声あり)
それでは、本日予定をしておりました案件について全て終了でございます。

これをもちまして、第8回教育委員会議を閉会いたします。
皆様大変お疲れ様でした。

－【閉 会】－